

| | | | |
|---|---|-------------------|-----|
|  | <p>全国唯一！</p> <p>ギネス世界記録®に認定！</p> <p>492人が練馬の伝統野菜“練馬大根”を</p> <p>同時に引っこ抜き！</p> <p>～「第11回 練馬大根引っこ抜き競技大会」を開催～</p> | | |
| | と き | 12月3日(日)午前9時～午後1時 | ところ |

3日、南大泉の畑で、「第11回 練馬大根引っこ抜き競技大会」が開催され、全国から参加した265人が、練馬を代表する伝統野菜「練馬大根」の引っこ抜きに挑戦した。(J A東京あおばと共催。)

特に今年は、ギネス世界記録へ挑戦。3分間で492人同時に練馬大根を抜いた記録が「Most people unearthing radishes simultaneously」として見事ギネス世界記録に認定され、公式認定証が授与された。ギネス世界記録に挑戦した男性は「6歳の娘と一緒に「世界一」という目標に向けて一緒に頑張ることができて楽しかった」と、感想を話してくれた。



また、練馬大根引っこ抜き競技大会は、時間内に抜いた大根(上限10本)の長さを競う「グループ参加の部」と、制限時間内に引き抜く本数を競う「選手権の部」の2部門で行われた。

「グループ参加の部」では、96.5センチの練馬大根を引き抜いたチームが優勝した。

選手権の部では、男性の部で21本、女性の部で18本を抜き、それぞれ優勝を飾った。(制限時間1分以内)

練馬大根を丹精込めて育てていただいた農園主は、「2回の台風と長雨があり生育不良で心配していましたが、11月の暖かさで何とかここまで育ち、一安心しました。」と話した。

大会会長の前川 耀男(まえかわあきお)練馬区長は、「練馬区にはこの練馬大根をはじめとして、市民生活と融合した世界に誇れる都市農業があります。そこで、2019年に世界都市農業サミットを開催します。都市農業の意義や今後のあり方をともに考え、発展につなげていきたいと思います。」と語った。

ギネス世界記録®は、ギネスワールドレコーズリミテッドの登録商標です。

【練馬大根引っこ抜き競技大会について】

練馬といえば大根と言われるほど、練馬大根の名は全国的に知られているが、食生活の洋風化や、収穫が大変なこともあり、昭和30年代以降ほとんど生産されなくなった。区は、平成元年から農家の協力を得て育成事業に取り組んでいる。

平成19年に開始した「練馬大根引っこ抜き競技大会」は、これまで悩みの種となっていた練馬大根の収穫を競技大会にすることで、参加者が楽しみながら収穫し、練馬大根の魅力を区内外に発信するとともに、収穫した練馬大根を学校給食として提供し、子どもたちの食育を推進することができ、まさに一石三鳥のイベントである。



【グループ参加の部で優勝した千葉さん家族】

【問合せ】 練馬大根引っこ抜き競技大会に関すること

都市農業担当部 都市農業課農業振興係

電話03-5984-1403